



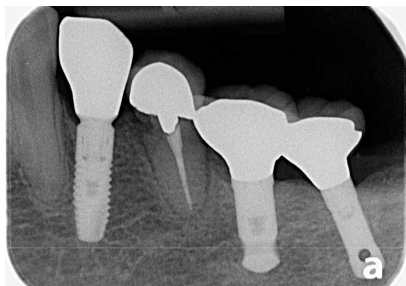
中居 伸行 先生
 京都市 なかい歯科
 義歯インプラントほてつ研究所
 長崎大学歯科補綴学講座 臨床教授
 日本補綴歯科学会専門医・指導医
 EAO認定医
 ロジカルプランニングセミナー
 補綴コース担当

Acuris™コノメトリックコンセプトによるシングルインプラント補綴

これまでインプラント補綴に際して、固定性上部構造の連結様式はセメントないしはスクリューの二者択一であった。近年、セメント維持に関してはセメント遺残がインプラント周囲炎の原因として指摘されている。またメンテナンス時のレトリバビリティも問題となりやすい。一方、スクリュー維持はアクセスホールに対する配慮が常に必要となり、シングルインプラントの場合ではインプラントレベルでの直接的な上部構造設置による生物学的影響が懸念される。

しかし、アストラテックインプラントシステムEV Acurisコノメトリックコンセプトによる第3の連結様式とも呼ぶべき新しいシステムが提供され、粘膜貫通部にコンポーネント(コノメトリックアバットメント)を介在させ、その上部に術者可撤式の上部構造がセメントレスで設置可能となった。

技工担当 山口洋氏(デンタルラボ シャンツ)



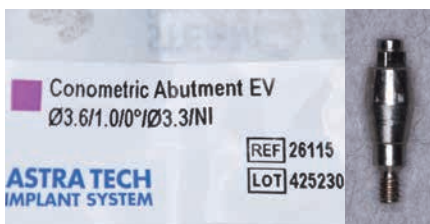
1. 術前デンタルX線写真
 35が歯根破折を生じており、抜歯された。



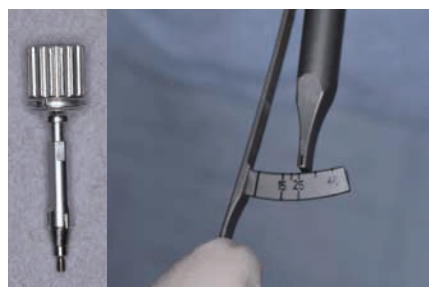
2. インプラント埋入直後
 抜歯後6ヶ月待時の後、シムプラントセーフガイドにより無剥離無切開でアストラテックインプラントEV φ3.6mm x 11mmが、1回法、35Ncmのトルクで埋入されヒーリングアバットメントが設置された。



3. 埋入2ヶ月後



4. 小臼歯で埋入方向は問題なく歯肉が薄かったため、コノメトリックアバットメントEV 高径1mm/ストレートの立ち上がり/歯肉貫通部直径3.3mmを選択した。



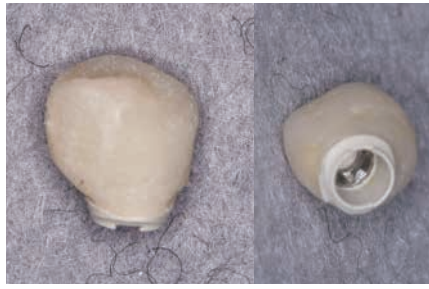
5. ドライバーハンドルをコノメトリックアバットメントドライバーに接続したうえで、コノメトリックアバットメントを把持したところ。アバットメント設置時のトルクは25Ncm



6. アバットメント設置



7. コノメトリックテンポラリーゼーションキャップを手指圧で設置した後、口腔内でその上に即時重合レジンを追加し、形態修正。



8. 歯冠形態の修正とともに歯肉貫通部の形態も大きくティッシュスカルピングを行った。テンポラリークラウン内面。PEEK材が使用されている。



9. テンポラリークラウン設置直後。若干の貧血帯が生じている。



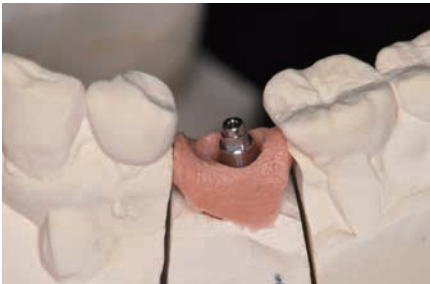
10. 脱着はラバー付きのプライヤーで行う。



11. 歯肉形態調整後



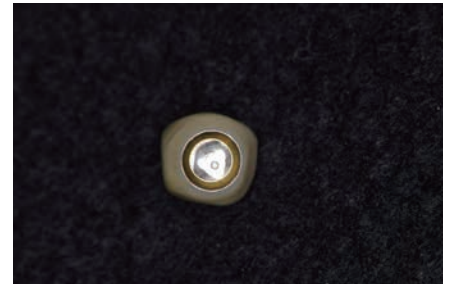
12. 最終印象採得
コノメトリックインプレッションキャップを設置して、シリコン印象材によりピックアップ印象を行った。



13. アバットメントを擁した作業用模型



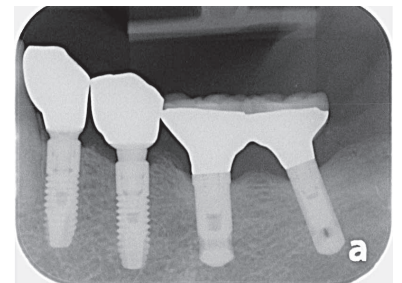
14.15. 完成したクラウン
グレード4の窒化チタンのコノメトリックファイナルキャップの上にジルコニアクラウンがレジンセメント合着された構造になっており、生態親和性と審美性も考慮されている。



16. シーティングは専用のフィクシングツールの先端に樹脂製のチップを装着して、「パチン」という衝撃が生じるまで咬合面を垂直方向へ圧接する。これにより所定の嵌合が成立する。



17. 35クラウン設置後



18. 35クラウン設置後のデンタルX線写真

Case Reportは、著者による実症例を紹介することを目的に作成しています。カタログ中に記載されている™ および® は、米国連邦商標法に基づき記載されたもので、日本における登録商標を意味するものではありません。

<http://www.dentsplysirona.com>